

目標達成計画

作成日: 令和元年11月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	可能な限り、トイレでの排泄を心掛けているが、個々人の排泄のパターンによるトイレ誘導を行っていないのが現実である。時間による一律の排泄を行っている。すでに失禁されていることが多い。失禁による皮膚の掻痒、臀部の皮膚疾患等の皮膚のトラブルが生じている。	一人一人の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄が継続できる入居者を増やしていく。失禁による皮膚のトラブルを減少させる。	排泄に取り組んでいる施設の見学や研修に参加し情報収集する。	3ヶ月
2				自施設で取り組めること検討し、具体化していく。(排泄パターンの把握) 皮膚トラブルを抱えた入居者の紙おむつ、パンツの素材等の検討。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。